

2003.10.7 IODP 部会事務局

日時：平成15年10月6日 10時30分～12時00分

出席：執行部 徳山・伊藤・井龍・加藤・木村・巽、部会長補佐 斎藤、事務局 西川

場所：東京大学 理学部 5号館

**【SSEPs メンバーの最終確認について】**

- ・ 9月30日の臨時執行部会での検討をもとに、委員の最終決定。ISSEP の1名（交渉中）を除き、確定。候補者全員から CV を取り寄せる。
- ・ 今後の IODP 部会内部手続きとしては、委員候補者リストを、専門部会の決定事項として幹事会へ報告。iSSEPs および SSEPs 委員については、選任の経緯を説明する文書を発信する（内容は執行部及び各専門部会長で調整）。
- ・ 今後は代理委員の選任作業を進める。
- ・ 委員の任期は、原則3年とする報告で確認。
- ・ 地球内部・地球環境両専門部会（兼 SSEPs 事前打合せ）の日程調整を進める（巽・井龍）。

**【IODP 発足時における J-DESC のアクションについて】**

- ・ IODP 発足に当たり、IODP 部会長からこれまでの経緯説明と今後の活動方針表明に関する文書（「IODP 発足に寄せて」）を発信する。

**【執行部員1名増員について】**

- ・ 部会会則に基づき、徳山部会長が、産業技術総合研究所荒井晃作氏を執行部員に指名する。
- ・ 事務局より、幹事会へ報告、その後、メーリングリスト等でも周知する。
- ・ 荒井氏の所掌および今後の執行部体制については17日の定例執行部会で検討する。

**【25日シンポジウムの準備状況について】**

- ・ 巽執行部員、事務局、神戸大（佐藤教授）の連携のもと、順調に準備が進んでいる。
- ・ 今後は、多くの参加者が集められるよう、お知らせを繰り返す。
- ・ シンポジウムの内容は、取りまとめた後製本し、積極的に利用してゆく（巽・木村・加藤・井龍）。

**【IODP 関連 PUBLICATION について】**

- ・ IODP 関連 Publication に関する業務分担等について、本件は基本的に IWG、IMI の所掌事項ではあるが、コンソーシアムとしては IMI-J において一元的にサイエンス・サービスを担当することが望ましいという意思表示をする。

- ・ これとは別に SPC の WG で検討中の IODP 関連 Publication に関する意見集約のためのアンケートを実施する (巽)。

#### 【専門部会の会則改正について】

- ・ IODP 正式発足に伴い、暫定科学アドバイス組織が科学アドバイス組織に移行したため、各専門部会の任務中に記載された“暫定”の表記を削除することが確認された。今後、幹事会へ報告する。

#### 【その他】

- ・ 巽執行部員より、9月30日の文科省訪問の報告があった。
- ・ 千葉大学より、日本海掘削関連プロポーザルに関するワークショップの開催のお知らせと、その際に J-DESC に関する講演の依頼があった。これについては徳山部会長が対応する。なお、今後は他の日本海掘削関連のプロポーザルとの連携を進められるよう提案してゆく。
- ・ IMI BoG について、任期満了のメンバーの後任について検討の必要がある。
- ・ 次回執行部会 (定例) を、10月17日 (金) 15時 (時間変更) から JAMSTEC 東京連絡所にて開催する。
- ・ 10月25日 (土) シンポジウム終了後、臨時執行部会を開催する (案件: シンポジウムの内容のとりまとめ など)。